

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

 八丈町
No.199
2021.8.25 発行

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>



JA八丈島女性部

島の農産品 栽培 加工 販売まで



加工場での調理風景。すべてに手間暇を惜しまない手作りが自慢です。

JA 八丈島女性部の部員は 21 名（部長・菊池みゆきさん）です。

女性部の主な活動は、月 1 回の漁協女性部の「おさかな朝市」の中での野菜などの販売、八丈島産業祭では生産物の販売はもちろん、麦雑炊を無料接待しています。また、夏と冬には週 2 回直売所で部員さん達の育てた野菜や加工品を販売しています。普及指導センターの先生の指導と事業所の協力をいただいて種蒔きをして成長した苗を各部員が持ち帰り、それぞれの畑で育てます。部員同士の畑の視察や育て方などの意見交換をするのがとても勉強になるそうです。

女性部の下部組織である加工部会（会長・村山真理子さん）では、八丈フルーツレモンの加工品 4 商品で東京都地域特産品認証食品（E マーク）を取得し、胸を張って市場に出せる商品に成長しました。

女性部では部員募集中で、農協の組合員になるための出資金 1,000 円と年会費 2,000 円で、八丈町に住んでいる女性なら誰でも入会できるそうです。プラントで野菜を育てている人やこれから育てたい人でも大丈夫。また、加工に興味がある人も大歓迎です。皆さんからは、野菜愛・手作り愛を感じました。

（取材者 山下則子）

CONTENTS

コロナ対策 議員定数削減
「八丈町基本構想・基本計画」決定

- 2P 第 2 回定例会
- 3P 一般質問
- 8P 質疑より
- 10P 町民の声



八丈フルーツレモンの加工品

E マーク
については
コチラから



第2回定例会

令和3年6月10日

コロナ対策 議員定数削減

「八丈町基本構想・基本計画」決定

一般会計補正予算では、八丈町独自の経済支援として、町民の生活および経済活動支援の一助となるよう、新型コロナウイルス感染症対策経済支援水道料金補助金（令和3年10月検針分まで）、島外学生支援給付金、観光協会会員会費、商工会会員会費の補助、農協および漁協の経費の一部補助の支援策が決定しました。

また、かねてから議論されていた八丈町議会議員定数条例の一部を改正する条例が提出され、可決しました。これにより議員定数は「14人」から「12人」となります。この条例は、次の一般選挙から施行されます。

さらに、公職選挙法改正に伴い、八丈町議会及び八丈町長の選挙における選挙運動に係る経費の公費負担に関する事項について、条例案が提出されました。総務省からの法改正の理由は、町村の選挙における環

境改善のためとされています。議員のなり手不足と多様な人材の議会参加の促進は、全国町村議会で求められてきた大きな課題です。今回の一部改正により、新たな一石を投じることになります。

そして今回は、今後の町の施策立案のベースとなる「八丈町基本構想（令和3年度～12年度）・基本計画（令和3年度～7年度）」を可決しました。総合的かつ計画的な町行政の運営を図るための重要な本案です。八丈町民憲章の精神に基づき、町民の積極的な参画と創造的な英知の結集により、のびゆく未来に向けて、島に暮らす人々の幸福の実現を目指しています。

コロナ禍でのさまざまな困難を乗り越え、多様性を尊重し、八丈町の魅力や価値を共に創りあげる「共創」を目指した今後の新たな取り組みが期待されています。

（宮崎陽子）

主な議決事項

6月定例会

令和3年6月10日

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（令和2年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分4件
- ◎ 令和2年度八丈町一般会計継続費繰越額の報告について
- ◎ 令和2年度八丈町一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ◎ 専決処分事項の報告について（国民健康保険給付に係る少額訴訟について）
- ◎ 八丈町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について
- ◎ 令和3年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算1件
- ◎ 八丈町議会議員及び八丈町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例ほか条例5件

- ◎ 令和3年度旧庁舎解体工事請負契約ほか契約3件
- ◎ 八丈町基本構想（令和3年度～12年度）・八丈町基本計画（令和3年度～7年度）の策定について
- ◎ 町道の路線の廃止について
- ◎ 町道の路線の認定について
- ◎ 八丈町議会議員定数条例の一部を改正する条例
- ◎ 議員の派遣承認について（南大東村訪問）

主な会議事項

議会運営委員会

令和3年6月3日

- ◎ 令和3年第二回八丈町議会定例会について

一般質問

6月10日
質問者7人

6月定例会では、町政全般へ7名の議員が13項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿は、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie.html>



氏名 質問項目

宮崎陽子 議員定数削減から生じる新たな予算化について
公職選挙法改正による八丈町の条例制定について

金川孝幸 島内の移動手段整備について

浅沼隆章 災害対策本部会議について

山本忠志 デジタル化の恩恵を全町民に
後継者育成のために島出身者採用枠を

沖山恵子 キャンセルなどで残ったコロナワクチンの対応方法は
コロナで収入が減った人の町営住宅家賃の見直しは行われたか
災害時の対応について細かく考えているか

岩崎由美 離島における送料格差の是正を
地熱開発を町民の財産に
新型コロナウイルスについては島の現状に即した対応を

山下則子 災害弱者の避難支援の強化を



宮崎陽子議員

所要時間 13分

議員定数削減から生じる新たな予算化について

固 議会としての機能を発揮するための推進として「議員定数削減」「議会基本条例の制定」などを進めながら住民の代表機関である議会活動を住民の皆さまに理解が得られるように「議会の機能強化」「経費節減」「公正性・透明性の確保」を念頭に、開かれた議会を目指すためには、単に議員定数削減で解決するのではなく、削減から生じる予算を具体化して、住民の皆さんに

還元できるように新たな政策構築が必要。
①町立八丈病院医療事務専門スタッフの体制整備。②八丈島初、特別支援学校モデル事業（東京都事業3年契約）後の持続的支援と就職支援。③コロナウイルス等感染症対策を含む、八丈町災害対策基金としての積立金。以上の重要課題について町からの見解を問う。

答 企画財政課長 予算編成について年度ごとに予算編成要綱を作成して行っている。令和3年度事業費の要求にあたっては、職員が現状を認識した上でこれまで以上に自主財源の確保と歳出削減に努め、事業の見直しを行い、最少の経費で最大の効果が発揮される予算を編成。各課で優先付をした上でヒアリングを行い可能な限り予算反映に努め、議員定数削減にかかわらず検討している。

公職選挙法改正による八丈町の条例制定について

問 昨年度新たに改正された「公職選挙法」について町村の有権者数や財政規模、過去の慣例などから一部の町村で公費負担をしないことが問われていた。議員のなり手不足と多様な人材の議会参加の促進は全国町村議会で求められている大きな課題。公職選挙法で禁止されている寄付行為について選挙管理委員会では公平な選挙を推進するための機関としてこれらの課題をどのようにお考えなのか町からの答弁を求める。

答 総務課長 選挙の公費負担は本議会に条例議案を提出。議決後の選挙から適用となり内容は広報を行う。公平な選挙の推進については選挙が公明かつ適正に行われるように啓発活動を行っていく。



金川 孝幸 議員

所要時間 16分

島内の移動手段整備について

問 高齢者の移動手段についても何とかしてほしいと悲痛な声が聞こえる。高齢化の進んでいる八丈町で安心して生活するには避けては通れない問題である。公共の交通機関である町営バスは、路線が限られ運行本数も少なく、利用できる町民はほんの一部の人に限定されている。足の悪い人も多く、重たい買い物の荷物を持って歩いている方を見かける。車に乗せてくれる家族や知人がいれば良いが、買い物や通院などで困っている方は増えている。町の重要なインフラを整備するためにこの問題に取り組む考えはないか町の考えを聞きたい。

答 企業課長 町の乗り合いバス事業は厳しい状況にある。島内の移動手段については町全体で検討していく。

問 民生委員をやっていた時に高齢者の調査を行った。困っている方に行政として救いの手を差し出すための調査ではないのか。

移動手段で困っている高齢者の実態と対応策を聞きたい。

答 福祉健康課長 運転免許返納などもあり高齢者の移動手段の確保は重要である。都のシルバーパス及び八丈町老人優待乗車券を利用してほしい。この問題については今後スピード感を持って各関係機関と協議していく。

問 町営の路線バスにお客さんが多く乗っているのをほとんど見たことがない。1便当たりの平均的な利用者数と、町民と観光客の利用割合が分かれば知りたい。

答 企業課長 2019年の実績で1日平均263人の利用がある。シーズンによるバラツキもある。

問 多くの市町村では工夫して対応している。デマンド交通は小型バスや乗り合いタクシーを活用し、定められたエリアの中で運行時間やコースに加え発着場所を自由にでき、町民だけでなく観光のお客さんも使える。プロジェクトチームを作って対応する気はないのか、町のリーダーの考えを聞きたい。

答 町長 公営企業でやるには困難な部分もある。縦割りの問題はあるが今の福祉の部分に上乘せするなど、公営企業と福祉は切り離して対応する。



浅沼 隆章 議員

所要時間 15分

災害対策本部会議について

この1年間でコロナウイルスがどのようなもので、どのような対策をすればよいかはわかってきているが、変異株の広がりもあり、感染拡大の防止と経済を動かすアクセルとブレーキはうまく機能していないように思われる。八丈町の安全と経済活動の活性化は八丈町の仕事である。その方針を決めるのが対策本部会議であるので、質問させていただく。

問 八丈町は災害対策本部を設置している

が、自然災害とウイルス感染症対策会議で具体的に組織図と決議方法が違うのであれば、どのように違うのか。（有事の際に迅速に対応できる組織体制の構築）

☒ 総務課長 災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、それぞれ設置され、町の条例でも制定されている。組織としては、町長を本部長とし、町の管理職で構成され、本部長によって方針が決定される。

☒ 災害対策本部会議の構成員に島民の代表である議員が入れないのは急に会議が行われるため招集ができないと答弁があり、その代わりに会議の内容をまとめて情報共有するということになっているが、災害対策本部会議の内容を早急に共有することは可能か。（議員への情報の提供と提供方法）

☒ 災害対策本部での決定事項については、すみやかにホームページで公開し、防災無線でも放送するよう努めている。

☒ 組織の構成は町職員以外からの意見も重要であるので、八丈町の災害対策として組織の見直しを検討するべきと考えるが、町の考えは。（情報を集める手段としての組織体制の見直し）

☒ 対策本部では、町職員以外の専門家等を会議に出席させ、意見を求めることができることになっている。



平成 30 年の防災訓練時の模擬会議



山本 忠志 議員

所要時間 50分

デジタル化の恩恵を全町民に

☒ 以前、八丈町のデジタル化の促進につい

て質したところ「現状を調査し、何が必要で何ができるかを検討する」との回答があった。その結果を問う。また、八丈町でもスマホ教室を開催すべきと考えるが、いかがか。さらに、町のHPに「八丈島デジタル活用協議会」設立のお知らせが掲載されているが、活動内容を伺う。

☒ 企画財政課長 高齢者のスマホ保有率推定値が判明したが、八丈町の高齢者のスマホ保有率は低く、八丈島デジタル活用協議会の活動の一環として「スマホ教室」の実施を進めたい。同協議会は、都と町が事務局を務め、推進役として地域おこし協力隊員、その他町内の各種団体代表13名の委員で構成されている。9月末までに事業内容を検討し、年度末までに実施事業の効果検証を行う予定である。

後継者育成のために島出身者採用枠を

☒ 八丈町では数年前から各分野で高齢化が進展しており、後継者の育成は町の大きな課題である。現在、各分野で改善されているとはいえ、町のマンパワー不足は再燃する可能性もある。一般募集とは別枠で八丈島出身者の採用枠を設けて後継者を育成してはいかかかと考えるが、総務課長の所見を問う。

☒ 総務課長 地方公共団体の職員の採用については、標準職務遂行能力及び適正の判定に必要な出身地等の事項で振り分けることができないことになっている。

☒ 町の教育目標や奨学金貸与事業では、八丈島出身者を町の後継者に、という町総体としての期待が感じられる。一方、公務員の採用は公正な判定基準で行われるべきであり、町当局の考え方とは矛盾していると言わざるを得ない。採用人数や採用率などは求めないが、島内外からバランスよく採用するよう配慮できないか。

☒ 総務課長 現在、町の職員の40%が島外出身者であり、離職率が高いなどの問題もない。厚労省の通達もあり、島内出身者枠を設けることはできかねる。



沖山 恵子 議員

所要時間 26分

キャンセルなどで残ったコロナワクチンの対応方法は

八丈町のコロナワクチン接種に関する対応は、電話受付から接種に至るまで、綿密な計画と行き届いた心配りでとてもよかった。自治体として誇れる対応だと思う。また、私としては、上京も多く人と会う機会の多い首長が感染し、行政に混乱をきたすよりは、町長や三役・課長がキャンセル分を利用し、万全の体制で行政運営をするのは、リスク管理的に有効なことだと思う。

問 キャンセルなどで余ったワクチンはどのように処理しているのか。役場の関係者が打った事例はあるか。

答 福祉健康課長 接種前日に確認の電話をして残らないように調整しており、キャンセルは非常に少ない。体調不良などでキャンセルになった分は、会場スタッフや消防職員、警察官などに接種した。

問 人口が少なく、配られたワクチンが余った青ヶ島のワクチンをいただけるようお願いできないか。

答 お願いしてすでに665回分をいただいている。

コロナで収入が減った人の町営住宅家賃の見直しは行われたか

問 コロナで収入が激減した人の町営住宅家賃の見直しは行われたか。

答 建設課長 コロナに限らず、収入が極端に減った時は随時見直しなどを行っており、昨年度も今年度も数件実績がある。相談してほしい。

災害時の対応について細かく考えているか

問 災害の種類別でコロナ対応の災害避難所の収容人数は、まとまったか。

答 総務課長 最大1819人、豪雨時は坂上3地区で201人、津波時は坂下で1204人。

問 八丈富士噴火時、坂上に避難する車で渋滞が起き、身動きが取れなくなると思うが、検討したことがあるか。

答 避難計画を策定しており、噴火する場所にもよるが、坂下の避難所に集め、バスで移動する予定。

問 非常時は想定外のことが起こる。車で移動する人も出ると思う。マニュアル以外にも様々なことを想定して検討してほしい。

答 検討する。

問 ハザードマップを役場ホームページで見られるか、コピーサービスをしてほしい。

答 ホームページに掲載済み。



岩崎 由美 議員

所要時間 35分

離島における送料格差の是正を

離島在住者にとって割高な送料や、配達不可は明らかに格差である。

問 離島への運賃補助などの現況は。

答 企画財政課長 海上貨物運賃補助がプロパンガスなど4品目が100%、野菜、切葉など15品目が50%補助。現状に即してないものもあり、毎年度対象品目の拡大、事業継続を島しょ町村会で要望している。

問 離島送付不可や大きさなどに制限があるのはどのような理由か。

答 運送事業者の働き方改革の一環。現状で八丈島へ規格以上の荷物を送る際は、芝浦止めにし、東海汽船に配送依頼をしている。

問 島民の生活の利便性向上および産業振興のための施策は。

答 輸送費用格差是正は大きな課題。離島振興法の改正もあるので、全国の離島と協力して要請したい。

問 補助率を上げることはできないか。

答 都ではコロナ対応で12月まで50%を100%にしてもらっている。離島振興法のソフト事業として国が6割負担の事業がある

が、地方の負担軽減など使い勝手がよくなるように要請していきたい。

地熱開発を町民の財産に

地熱発電利用事業はクリーンアイランドを推進する町の重要施策のひとつ。

問 東京電力による地熱開発の経緯は。

答 企画財政課長 平成7年度に3本の調査井掘削、噴気試験。平成11年3月に運用開始。2年3カ月を経過した頃1本での運用に。平成30年に地熱発電所の廃止を発表、令和2年に生産井の埋坑。オリックスによる開発は令和5年度中に工事完了予定。

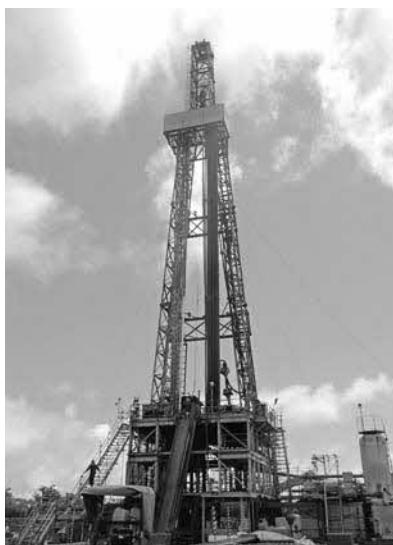
問 今回は生産井、還元井各1本。どちらかでも使えなくなった場合の対応は。

答 オリックスとしては東電のデータも踏まえ、相当確実なものとして掘削している。

問 先般の説明会における住民の意見に対する町の対応は。

答 回答は役場、出張所で閲覧できる。オリックスが責任をもって地熱開発を進めると認識しているが、有識者への相談体制について現在調整中。

中之郷・地熱発電所構内に設置された掘削用の櫓
(写真提供・オリックス)



新型コロナウイルスについては島の現状に即した対応を

問 町の対応が23区と同様でよいのか。観光客に対しては「来島ルール」を示した上で、受け入れている所もある。

答 総務課長 感染力の強い変異株が増えており、人の流れを抑制する事を基本に対応を行ってきた。ご意見があるのは承知して

いるが、逆にこれだけでいいのかというお声も。双方のご意見もある中、安全値をとっている。



山下則子議員

所要時間 10分

災害弱者の避難支援の強化を

近年頻発する自然災害に対応して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化を図るため、改正災害対策基本法が参議院本会議で4月28日に成立、5月20日に施行された。この改正法では、自治体が発令する避難勧告・指示を一本化し、従来の勧告の段階から避難指示を行うこととしている。また、もう一つの改正の柱として、個別避難計画の作成を市町村の努力義務とすることが掲げられている。この計画は、災害時に支援が必要な高齢者や障がい者など自ら避難することが難しい方々の避難先や避難経路などを事前に定めることで、早期避難を実現するのが目的である。

問 個別避難計画を進める前に、その元となる避難行動要支援者名簿が必要になるが、町ではこの名簿を作成しているのか。また、名簿ができているとすれば、次の段階である個別避難計画を作成し、災害弱者と呼ばれる方々の安心につなげていただきたいと考えるが、町の見解を伺う。

答 総務課長 要支援者名簿は作成している。これは、高齢者実態調査を行い、本人の介護度や住んでいるところの状況（津波や土砂災害などに対して）など細かく記載され、コロナ禍なので見直しは行われていないが、現在でも最低限の対応はできると考える。個別避難計画については、防災担当課だけでなく、高齢者や障がい者の担当課とも連携して作成を進めていく。

問 避難行動要支援者名簿があることも知らない人もいるが。

答 今後の課題としていく。

質疑より

新型コロナワクチン接種の進行状況について

一般会計補正予算審議では八丈町で4月から始まった新型コロナワクチン接種の進行状況や副反応についてなど、さまざまな質問が出されました。

※ 町の答弁は6月10日の定例会段階のものです。

● ワクチン接種状況は

岩崎由美 議員 ワクチンの接種状況はどうなっているか。すべての対象者が完了するのはいつごろか。

福祉健康課長 医療従事者が4月19日～5月にかけて、2回接種が完了。合計で137名。それ以外の歯科医師や薬局の職員の方、病院以外の看護師の方々約50名は1回目の接種が終わり、まもなく2回目。

65歳以上の高齢者は5月1日現在で対象者が2978名。5月10日から5歳刻みに年齢の高い順から接種している。80～84歳の方の2回目が今週始まっている。65歳以上の高齢者で1回目が終了している方の接種率6月4日現在、43.28%。すでに2回目の接種も終わった方は14.94%。

6月21日～30日に一番人口の多い70～74歳の方の1回目開始される。65歳以上の方の2回接種終了までのワクチン分は確保できおり7月末までには終わる。その後基礎疾患の持っている方、施設従事者、60～64歳の方を8月の第1週から接種ができるように進めている。接種対象者が16歳から12歳までと変わっているため、8月からは土曜日にも増やして実施していく。ワクチンが順調に入ってくれば11月には対象者全員が終わるのではないかとこのスケジュールで進んでいる。

● 副反応の具合は

山下 則子 議員 副反応の状況は。
福祉健康課長 1回目の接種で血圧が急激に下がって医師等が対応し、家族に連絡し、30分ほどで回復されたという方はいる。

病院事務長 病院の接種副反応結果は全体で97人接種した。うち57人の結果は以下の通り。

医療従事者57人の接種後副反応調べ

接種1回目

症状	人数	割合 (%)
腕の痛み	44	77.1
頭痛・首痛	5	8.8
倦怠感	4	7.0
発熱 (37.0)	1	1.8
症状なし	3	5.3

接種2回目

症状	人数	割合 (%)
腕の痛み	3	5.3
頭痛・倦怠感	5	8.8
発熱・悪寒 (37.0～38.9)	20	35.1
症状なし	29	50.8

● 接種は自己責任で

宮崎 陽子 議員 ワクチンを接種できない、したくないという方もいる。現段階ではワクチンは自己責任ということになっているかと思うが対応は。万が一の時を配慮し、接種前の事前予診チェックリスト（特に若年層）の充実を検討していただけるか。

福祉健康課長 予診票の方で、チェックの後に自署（責任は自分でしっかりとりますという）の欄がついている。対象が12歳まで下がったということで、夏休み中にお子さんたちの接種をできないか検討している。

● 島外での接種は

沖山 恵子 議員 一般の方も大規模接種会場で打つという時期がくるかと思う。接種券を先に発送して（予約は順番だが）、受けられる方は島外で受けることも可能とすることは

きないのか。またがんの方が7月に手術をする
が、手術前なら打ってきていいと言われたと
のこと。対象年齢以下でもそのようなケース
に臨機応変な対応ができないか。

福祉健康課長 今回予約の回線を増やす補正
をあげているが、受付体制から一度の接種券
を幅広く送るということは難しい。今65歳ま
では5歳刻みで各500名程度だったが、今後は
10歳刻みで各層800名から900名と早めてい
こうと考えている。がん患者の方のことも含
めて検討させてほしい。

島外の大型会場での接種に関しては、島外は
モデルナ、八丈はファイザー。打てたとして
もモデルナの場合4週間後、また受けに行かな
ければならない。八丈でモデルナの2回目を打
つことはできない。今の体制に満足している
わけではないので、他課の協力を得て早く終
了させることを目指している。

● 坂上での接種は



浅沼 憲春 副議長 坂上3地
区は交通の便の関係上、各
公民館で先に接種できない
のか。

福祉健康課長 副反応で重
篤になった場合にすぐに対
応できるのが町立病院。搬
送時間を考えると難しい。

● 島外学生の支援金について



山下 巧 議員 新型コロナ
ウイルス感染症対策島外学
生支援給付金は、3万
円×160人という予算を計
上しているが、この160人
の根拠は。

総務課長 八丈高校の卒業
生×4年制の大学というところを基本に計算し
ているが、年齢制限などはなく、学生であれ
ば対象となる。申請者は学生本人になるので、
どのように周知させるかが、一番心配な
ところである。

● 生理の貧困について

※「生理の貧困」とは、経済的な理由や
環境的な要因により生理用品を買うこ
とができない状態にあること。NHKが
行った3月の調査では、日本の若者の5
人に1人が経験しているという。

岩崎 由美 議員 八丈町での実態は把握してい
るか。

福祉健康課長 子ども家庭支援センターに
「八丈町でそういった支援策はあるのか」と
いう電話での問い合わせが一件あった。今後
コロナによって収入も少なくなって困るお子
様方もいるということであれば、当然町とし
て把握はしなければならない。教育課と連携
をとって、小中高校にも協力いただき、まず
は調査をしなければいけない。配布の仕方、
例えば福祉健康課にご自由にどうぞと置いた
としてもなかなか取りに行くのはという方も
いると思うし、逆にトイレに設置してもごっ
そり持っていかれるという懸念もある。まず
他の自治体を調べたい。

岩崎 由美 議員 子ども家庭センターに問い合
わせが来た時には、どのような回答をしたの
か。

福祉健康課長 申し訳ないが今現在そういっ
たことはやっていないと答えた。

岩崎 由美 議員 小さなささやかな声でどう対
応するかは重要。今回に限らず住民からの声
にどう対応するのか、副町長に回答をいただ
きたい。

副町長 いろいろなお声がわれわれのところ
に届く。相談いただければどうやったらでき
るかというところから考える。これからも幅
広くお声をお届けいただければと思う。

● 学校トイレへの設置を

山下 則子 議員 都では全都立高校の女子トイレ
に生理用品を置くということになった。八
丈町としてもたぶん小中学校の保健室には用
意はしてあると思うが、トイレにも生徒が自
由に使えるものがあつた方がいいのではと思
うが、どうか。

教育課長 われわれが見落としがちなが指摘
というところで前向きに検討させていただき
たい。

大賀郷でペンションを経営

ちかゆき
立石 司幸さん

コロナ禍で島の商工業・観光事業は大きな打撃を受けている。大賀郷でペンションと居酒屋を営む立石司幸さんに、これまでの様子や、コロナが収まった段階で、町に望むことを伺いました。

Q コロナの影響は。

A ペンションは昨年のゴールデンウィークは0人でした。今はコロナ前と比べ大きく減ってはいますが、出張で来る方や長期宿泊者がいるため、途切れず営業しています。今年の夏は例年の7割ぐらいの予定です。

居酒屋は緊急事態宣言が出るたび休業し、昨年度は6カ月休みました。売上は半分以下、食材の廃棄など費用がかさみ、閉めざるをえませんでした。今は仕出しでつないでいますが、質素な冠婚葬祭が定着すると今後も大変だと思っています。

Q 従業員は解雇しましたか。

A 休業助成金では足りず、雇用保険のほかにも妻とあらゆる補助金を勉強し活用して何とか維持しています。

Q 助成金はすぐ出ましたか。

A 初日に申請し2カ月で出ました。

Q 町の施策に望むことは。

A 水道料無料は大変助かっています。緊急事態宣言やまん延防止地域から島しょ部が外れても、飲食業の人数制限などさまざまな決まりはほぼ同じで、営業になりません。都内と島しょ部は細かな決まりも分けて考えていただくように要望してほしいです。

Q コロナが収まったら望む施策は。

A テレビなどのメディア露出は不特定多数へのPR効果があり、過去八丈島が取り上げられると確実にお客様が増えました。商工会・観光協会・八丈町一体となってオール八丈でPR活動を促進し、ANAも3便体制になるように陳情してほしいです。

(沖山恵子)

戦争体験者

三根在住 女性84歳

あまりあの頃のことは話したくないのだけど…。「自分の一生の中で一番強く思うのは、戦争だけはもう二度としてはいけないこと」と前置きをして、その方は語ってくださいました。

当時の八丈島には、空港建設のために多くの朝鮮労働者が来ていました。宿舎から現場に向かう際に「歩くのが遅い！」などと怒鳴られ、棒で叩かれている姿を物陰から見ていた記憶があります。母には「見てはダメよ」と言われましたが、子ども心に、なんて可愛そうなのだろうと思ったものです。食事も十分ではなかったのでしょうか。今だから言えますが、母は家族の食事が残るとイチジクの葉にくるんで庭の片隅にそっと隠し置きました。コソコソ…コソコソ…と草が揺れ動く音で、持ち去ったことがわかります。けれども、やがてその音もある日を境にパタリとしなくなりました。もしかしたら亡くなったのかもしれない。今でも飛行機に乗る前には、そんな方々のことを偲び、手を合わせています。大人たちがどんなことを見聞きしたのか知るよしもありませんが、どこか触れてはいけないような雰囲気でした。

戦争が終わり疎開から島に戻った頃も、我が家は日本軍が使っていました。上官に物を投げつけられるなど、上下関係は厳しいようでした。同じ人間なのにね。そして明日はもう島から出ていくという前夜、兵隊さんたちは「ラバウルの唄」を一晩中歌っていたことをよく覚えています。そんな兵隊さんたちが使っていた机や釜は今もまだ我が家にひっそりと残っています。

(岩崎由美)

文化財専門委員長 林 薫さんのお話し

当時の八丈島には、労務、軍属、兵士として朝鮮人の人たちが来ていました。特に空港建設労務に関わった人たちは約2000人とも。強制的に連れて来られ、賃金も支払われず、不十分な食料と長時間労働で病気も蔓延し、多くの人が亡くなったといわれています。この方のお話のように、その様子を可愛そうに思った島の人たちは、こっそり食べ物を与えていたようです。

【あとなぎ】

1年間パソコンの調子が悪い。数字の「9」と英字の「Z」が打ってもあまり反応しない。ローマ字変換の私は「Z」が含まれる「ざ・じ・ず・ぜ・ぞ」を打つのに一苦労だ。物を大切に（ケチで新しい物の対応力が低い）私は意地になり、「9」は「きゅう」と打ち変換し、「はちじょうしま」は「は

ち・たけ・しま」と他の読み方を探し変換している。毎回パズルゲームのようだ。疲れて、別売りのキーボードを買ってみたが、使いにくくまたパズルゲームに戻った。ついに新しいパソコンを買ったが、今度はネットに接続ができない。もちろん携帯はガラケーだ。ああ機械に強い頭がほしい！

(沖山恵子)

発行人 八丈町議会議員 奥山幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

